

こんな夢をみた



Life is but an empty dream.



果ての町の駅でチョコレートを買って  
食べていた。

列車がくるまで、まだ間がある。

キヨスクのおばちゃんに問うた。

「果ての先にはなにがあるのでしょうか」

「私はここから出る気が無いんですよお、  
だから先にはなににもみえません」

望めばこの先を知れるのだろうか、  
わからない。



私は水底に座っている。

ずっと水面に浮かぶ微かな森羅万象を  
みてすごしていた。

ある時、水面を揺るがせ手が伸べられた。  
手は私を掴み、水底から掬い上げようとする……



そこで目が覚めた。

伸べられた手がかつて居たひとのものに  
重ねることこそ、悪いこととは言われまい。



私は絵画の中の空にぽつんと浮かぶ  
赤い風船だった。

誰がなんのために私を空へ浮かべたのか、  
意味を知らない。

ただ、観る人々が想像してくれる。

その中での私はどこまでも自由であった。

ほんとうは縛られてなんかないのかもしれない。

……どこへでも行けるのかもしれない。

人は皆、自分のたまごを抱えて  
生きている。

そのたまごは、臨終の際に孵るといふ。

私は今まさに終わろうとしていた。  
ふるふると震えるたまごでそれと知った。  
それまで叩きつけても  
割れることのなかったたまごに  
輝か入る……



そこで目が覚めた。

なにが生まれたのかついで知らない。

私は片脚の欠けた美しい少女に仕える従者だ。

「お前は私のものでしょう？」

「ええ貴女が飽きるまで」

黒髪を梳きなきながら答えれば、主は年端のいかぬ娘とは思えぬ  
艶然とした笑みをみせた。

私は彼女に恋している。疾しくても叶わなくても。  
想うことは自由だ。

薄荷糖を買いに、月のスーパーへ行くことにした。

『世界の果て』と書かれたバス停で、

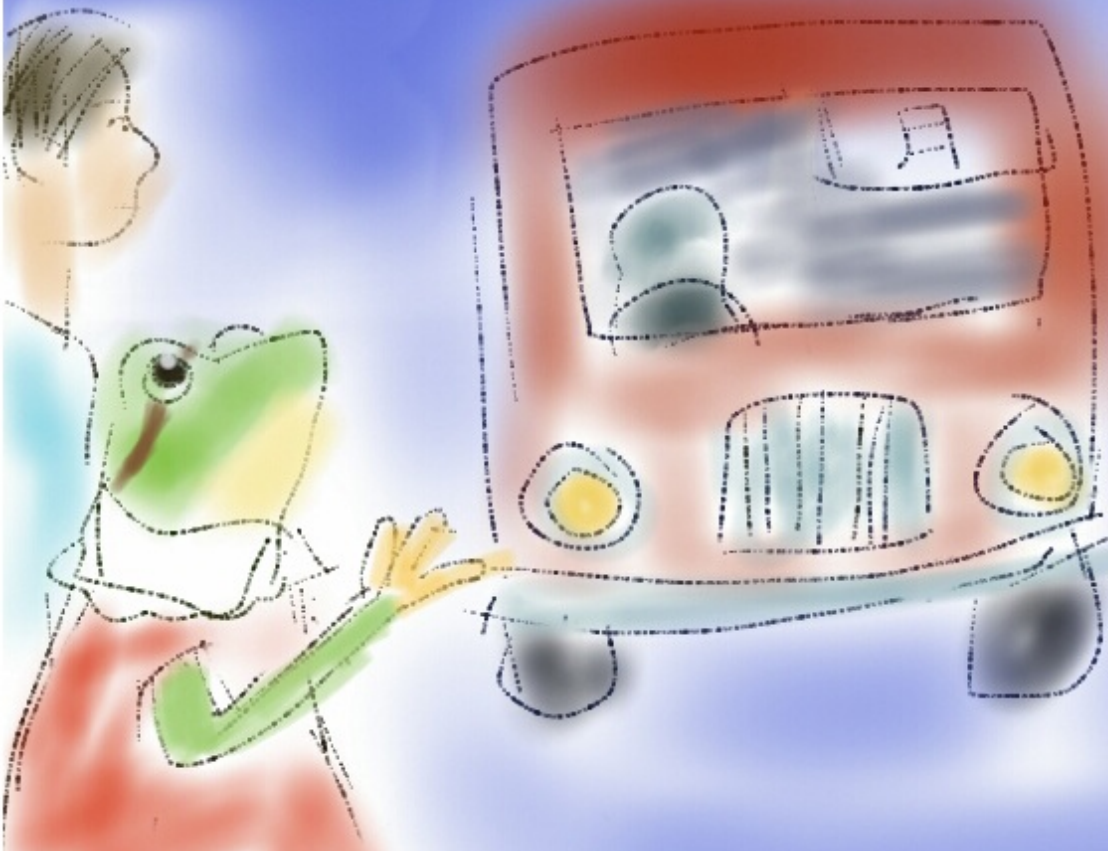
アマガエルのご婦人と話が弾む。

月行きのバスはよく遅延するらしい。

ようやくやってきたバスは満員で、運転手が

明日の便に乗ってくださいと謝ってきた。

薄荷糖は諦めよう。





私はお針子だった。

移ろう時間毎、季節の空を繕うのだ。

今は春の夜空を作成している。

たぶん、今宵は新星が多く見つかるだろう。

ビーズの位置をいくつか間違えたから。





私は魔女の備忘録だ。

「マスターは、何故私を少年の形にしたのですか」

目に力のある、さっぱりとした気質の主は

少し思案した後にかう笑った。

「ガキが小難しいことを宣うの、面白いかなって」

納得いかなかったが、ふたりでお茶をしながら

こうして四方山話をするのは悪くない。

空に糸を垂らす老人がいた。

「なにが釣れますか？」

「運がよければ天使、まあだいたい星屑だがね」

老人が釣れたばかりの星の欠片を手渡してくれた。

私はその角を少しだけかじる。

すーっと口のなかで溶けた星は、

薄荷に似た味だった。

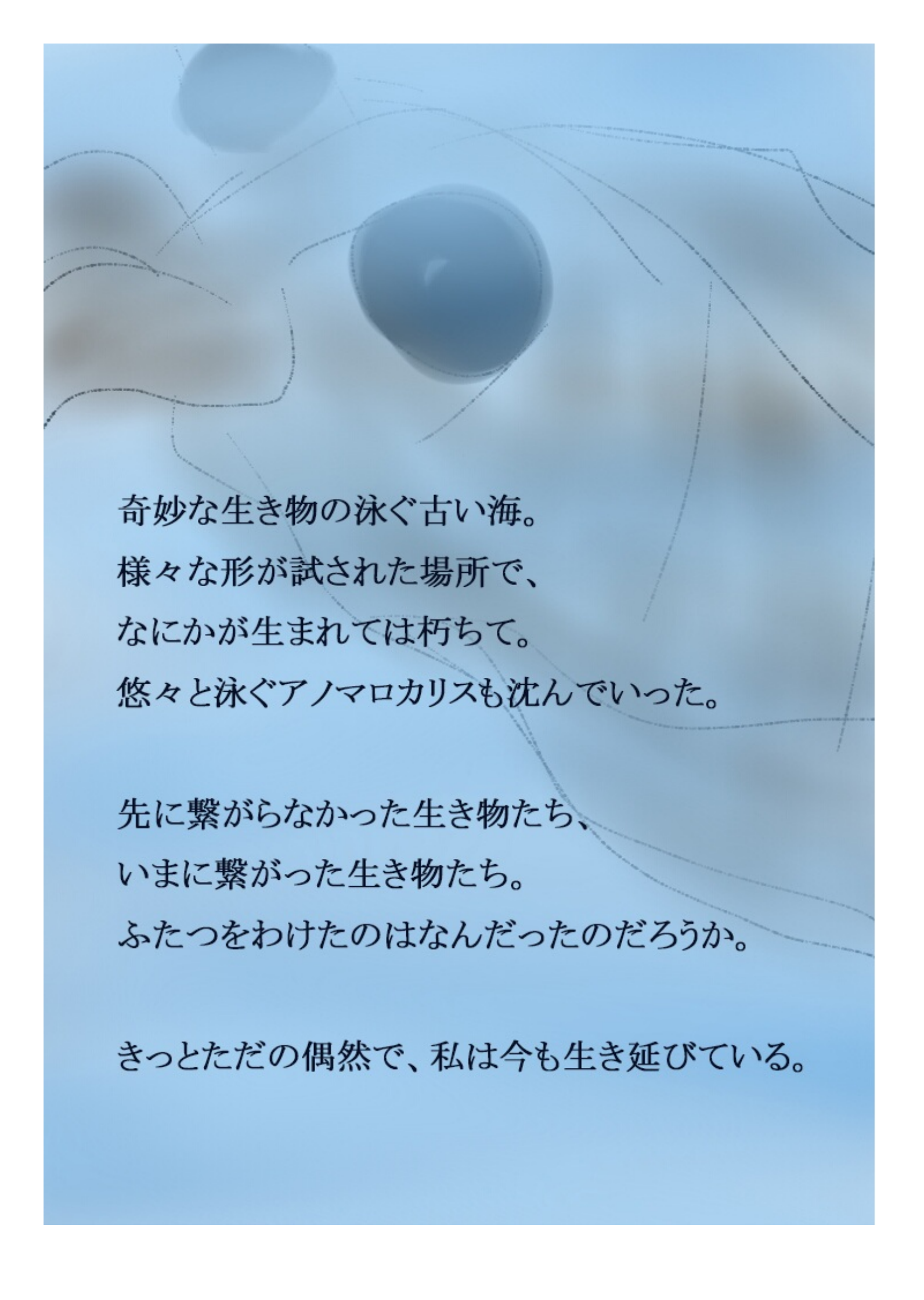
そこで目が覚めた。天使はどんな味だろうか。



喪服姿の女が灰色の空の下歩いている。  
手に、乾いた血によく似た色の花を一輪もって。  
——墓標の下に貴方がいないことを知っている。  
当てつけのように貴方の嫌った花を飾ることの  
無意味も。

嘲るように唇の端をひきつらせた女の顔が、  
それでも泣いているように見えた。





奇妙な生き物の泳ぐ古い海。  
様々な形が試された場所で、  
なにかが生まれては朽ちて。  
悠々と泳ぐアノマロカリスも沈んでいった。

先に繋がらなかった生き物たち、  
いまに繋がった生き物たち。  
ふたつをわけたのはなんだったのだろうか。

きっとただの偶然で、私は今も生き延びている。

ひらひらと、黒色の蝶が通りすぎた。

訪れぬバスを待つて、どれくらい過ぎただろう。

日傘の影で、あなたの唇が薄く笑う。

(ねえ、ここではないどこかへ)

遠雷の音がする。

バスはまだ来ない。

そこで目が覚めた。

何処へ居たつたぶん同じ、

私は私にしかなれそうもない。



## こんな夢をみた

<http://p.booklog.jp/book/85501>

著者：こいけ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/38a1db/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/85501>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/85501>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ